



戸塚小学校だより

244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

TEL 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

そうだよね。それいいね。

校長 鈴木 陽一

「12個ある卵から3個使うといくつ残る。」という問いに

「式は、 $12-3$ 」「答えは、9。」とすぐに子どもたちは、答えられます。

「 $12-3$ 」からどうやって答えを導き出すことができるのか。

ここからが、授業の本題です。子どもたちは、

ブロックを使って。(絵をかいて)

グラフで表して。

ひかれる数の12をまず10と2に分けて。

引く数の3を2と1に分けてなどなど…いくつかの方法を考えます。

これは、1年生の授業での一場面です。答えを導き出すためにどうするか、一人一人が考え、それを学級全体で共有し、それぞれの考えを理解し、そのよさを認め合っていきます。

このようにして、考える力を高め、互いに伝えていく力を育てていきます。

計算は、練習を積み重ねていくとすぐに答えを言うことができるようになるかもしれません。あるいは、電卓などを使えば苦も無く導き出せます。しかし、この学習のように、いろいろな解き方を考えることで、数の仕組みについて考え、数字の面白さや不思議さを感じることに繋がります。そして、自分の考えを他者にわかりやすく伝えようとするすることで、表現力が育っていきます。

また、1年生の国語の授業では、自分のおすすめの昔話を友達に薦めていました。自分の読んだ昔話を感想カードにまとめて、それをもって、友達の自分のおすすめの本を紹介していました。読んだ本の内容や面白さを感想カードに書くことで、整理整頓する力が付き、自分の思いを表現することができるようになります。またそれを紹介することで、他者とのコミュニケーション力へとつながっていくと思われま。どの子もニコニコしながら話し、聞いている子も嬉しそうにうなずきながら聞いていました。こうやって、相手のよさにも気づき、自分自身のよさにも気付くのではないのでしょうか。

本校では、育てたい子どもの資質・能力を「コミュニケーション能力」「相手を思いやる気持ちと自己有用感」「情報活用能力」として、国語科と算数科の授業で研究を進めています。前述の二つの授業は、先日行われた授業です。まだまだ、子どもたちに、「コミュニケーション能力」「相手を思いやる気持ちと自己有用感」「情報活用能力」が育ってきているとは言えませんが、全校のどの学級でも同じように授業を進めていくことが大切ではないかと考えます。そしてそのことが、学校教育目標「未来をきりひらこう！やさしさいっぱい 笑顔かがやく わたしたち」につながり、子どもたちの将来につながっていくと考えます。

今年もあとわずかとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力には感謝いたします。来年も引き続きよろしく願いいたします。よいお年をお迎えください。